



NEW KOMIITO

公明党埼玉県議会議員



西山じゅんじ ニュース

西山じゅんじ



Junji news '18
Apr.
No.56

連絡先

fax/04-2990-2172

e-mail/komei@nishiyama-junji.com

URL/http://www.nishiyama-junji.com



2月県議会で代表質問に登壇

代表質問 ダイジェスト

福祉、雇用、教育などで論戦

2月定例県議会で西山じゅんじ議員は公明党を代表して本会議質問に立ち、論戦を展開しました。心掛けた点は、①良いものはきちんと評価する②心配なものには釘をさす③現場の実情を踏まえた議論をする——の3点です。全力で取り組んだ内容をダイジェスト版でお伝えします。



県政にSDGsを

Q 貧困や格差、気候変動などの課題解決に向けて国連加盟国が2030年までの達成を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」が注目されている。SDGsの目標は、①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に保健と福祉を④気候変動に具体的政策を——など17個で、県政にも密接な関係がある。そこでSDGsに対する認識とSDGsを県政にどう取り入れていくのか見解を問う。

や県独自の学力学習状況調査は埼玉版SDGsだ。持続可能な社会のモデルを国内外に発信できるよう努力する。

A1は人を幸せに？

Q 30年度県予算にAI（人工知能）を活用した関連事業が14億円計上され、話題を呼んでいる。AIなど新技術の導入には光と影があり、特に雇用への影響が心配だ。専門家によると、20年後に約半数の仕事がAIに代わり、30年後には全人口の1割しか働かない社会になるとの予測もある。1割しか働かない社会を果たして喜べるか。県政へのAI導入にあたってはAIを使いこなす英知、哲学が必要だと思うが、どうか。

私学の無償化拡大

Q 公明党の推進により2020年には全国で年収590万円までの世帯が私立高校授業料の無償化が実現する見込みだ。その場合、既に埼玉県では独自に609万円までの世帯の無償化をしているので、国の支援が増額された場合は本県負担が減る。その額は？また、その分はさらなる私学助成か、教育負担の軽減に充てるべきだ。



A (上田知事) 持続可能な社会を目指すSDGsの理念に共感する。本県の健康長寿プロジェクト

A (知事) 非常に示唆に富む話をいただいた。仕事を失った人々の学び直しの拡大や充実が必要になる。今後はAIをコントロール

A (知事) 国の無償化が引き上げられた場合、本県負担の軽減額は約20億円。その分は県内私立高校への支援充実を図っていきたい。